

広島市報号外第7号

財 政 事 情

平成25年度下半期

広 島 市

公 告

平成 26 年 5 月 30 日

平成 26 年度の予算の状況と、平成 25 年度下半期の財政の状況を次のように公表します。

広島市長 松井 一實

目 次

I 平成 26 年度の予算の状況

- 1 予算の内訳
 - (1) 予算規模
 - (2) 予算規模の推移（一般会計）の比較
 - (3) 一般会計<歳入>
 - ① 歳入の内訳
 - ② 市税の内訳
 - (4) 一般会計<歳出>
 - ① 歳出〔目的別〕の内訳
 - ② 歳出〔性質別〕の内訳
- 2 市民一人当たりの金額
- 3 主要事業の概要
- 4 企業会計の予算

II 平成 25 年度の財政状況

- 1 予算の執行状況
 - (1) 一般会計
 - (2) 特別会計
- 2 市有財産の状況
- 3 市債及び一時借入金（一般会計及び特別会計）の状況
 - (1) 市債
 - (2) 市債現在高の推移
 - (3) 一時借入金

I 平成26年度の予算の状況

平成26年度予算は、市税収入が景気の回復を受けて3年ぶりに増収に転じ、一般会計の予算規模も3年ぶりに前年度を上回り2.8%増となりました。

予算編成に当たっては、これまでのまちづくりの基礎・基盤を踏まえ、本市が目指す「世界に誇れる『まち』の実現に向けての躍動を実感できる予算」とすることに意を用いました。

<重点施策>

(1) 「活力にあふれにぎわいのあるまち」の実現に向けた取組 159億4,971万円

平成26年度に完成する白島新駅の整備をはじめ、広島駅南口周辺地区市街地再開発、広島駅自由通路等の整備、広島高速5号線の整備、JR可部線の電化延伸、西風新都のまちづくりなどを着実に進め、目指す都市の新たな輪郭を形づくります。また、平成25年度に策定する計画に基づく自転車走行空間整備の着工や、これまで協議を進めてきた県市連携の一環として、県西部地域を担当する中小企業総合相談窓口の開設など、計画調整段階にあった施策を確実に具体化していきます。さらに、旧広島市民球場跡地の活用、アストラムラインの延伸など、将来の広島の有り様を左右する重要事項の方向性を定めていきます。

(2) 「ワーク・ライフ・バランスのまち」の実現に向けた取組 293億8,265万円

未来を担う子どもの育成に重点的に取り組みます。保育園待機児童ゼロを確実に達成するため、民間保育園の整備にかつてない規模の予算を投じるほか、小規模保育支援など子ども・子育て支援事業計画を先取りする取組や保育士の確保対策などのソフト策を合わせた総合的な取組を行います。加えて、優れた文化芸術やプロスポーツに触れる機会を確保するため、「子どもが見て聞いて楽しむ三大プロ」事業、文化施設等の小・中学生に係る料金の無料化に新たに取り組みます。

このほか、高齢者の働く場を創出する「協同労働」モデル事業、高齢者地域支え合いモデル事業、住宅団地の活性化など住民の心が通い合う地域社会の再生のための施策を推進します。また、市立病院機構の設立による医療提供体制の強化、生活困窮者自立促進支援モデル事業の新規展開や認知症対策の充実など、保健・医療・福祉の充実を図ります。さらに、学校校舎のほか、新たに、市立保育園、児童館、大規模民間建築物等の耐震化に取り組むとともに、公共施設の老朽化に対応するなど、安全・安心なまちづくりのための施策を講じることとしています。

(3) 「平和への思いを共有するまち」の実現に向けた取組 15億2,161万円

NPD I 広島外相会合の開催の機会を捉え、各国の為政者に被爆の実相を直接伝えるよう努めます。さらに、1年後に迎える被爆70周年という節目の年を、被爆都市ヒロシマの役割を再確認し、決意を新たに「平和への思いを共有」する年にできるよう、それにふさわしい記念事業に取り組みます。

(4) 「効果的・効率的な行政の推進」 4億2,559万円

職員一人一人がより高いレベルの能力を身に付けることや市民の利便性が高まるような行政の執行体制の整備に取り組むことにより、施策を効果的・効率的に推進していきます。

1 予算の内訳

(1) 予算規模

全会計	1兆1,456億9,755万1千円	(対前年度当初予算 △0.1%)
一般会計	5,855億8,075万1千円	(対前年度当初予算 2.8%)

会 計 名	平成26年度 当初予算額			平成25年度 当初予算額			差 引 増 減	増 減 率	
	兆	億	万 千円	兆	億	万 千円			億
一 般 会 計	5	855	8075	5	697	26895	158	538	2.8
特 別 会 計	4	072	40529	3	792	96744	279	437	7.4
住 宅 資 金 貸 付		8	808		2	2019	△13	211	△60.0
母子寡婦福祉資金貸付		7	33825		7	81734	△4	7909	△6.1
物 品 調 達		6	0290		7	0235	△9	945	△14.2
公 債 管 理	1	525	42343	1	370	43377	154	98966	11.3
広 島 市 民 球 場		1	06527		1	264917	△2	58390	△20.4
用 地 先 行 取 得		3	0547		1	02944	△7	2397	△70.3
西 風 新 都		5	88172		6	41829	△5	3657	△8.4
後 期 高 齢 者 医 療		1	1777778		1	1427554	3	50224	3.1
介 護 保 険		8	4202448		7	9831013	4	371435	5.5
国 民 健 康 保 険	1	290	39135	1	282	37943	8	01192	0.6
競 輪		1	3256368		1	3738568	△4	82200	△3.5
中 央 卸 売 市 場		3	553340		3	627389	△7	4049	△2.0
国民宿舎湯来ロッジ等		6	6928		5	0285	1	6643	33.1
駐 車 場		4	75412		5	34490	△5	9078	△11.1
開 発		1	725835		1	921352	△1	95517	△10.2
市立病院機構資金貸付		8	171691				8	171691	皆増
元 宇 品 町 財 産 区		3	90		3	90			0.0
三 入 財 産 区		3	40		3	53	△1	13	△3.7
砂 谷 財 産 区		3	52		3	52			0.0
企 業 会 計	1	528	76271	1	983	28535	△4	5452264	△22.9
水 道		4	6740353		3	9302004	7	438349	18.9
下 水 道		1	03895373		8	9672990	1	4222383	15.9
安 芸 市 民 病 院		2	240545		6	9353541	△6	7112996	△96.8
合 計	1	145	697551	1	147	352174	△1	654623	△0.1

- 一般会計の当初予算規模は、前年度当初予算と比べると 2.8%の増で、3年ぶりにプラス予算となりました。
(H25年度△3.2%、H24年度△3.3%、H23年度2.8%、H22年度7.3%、H21年度0.2%)
- 特別会計については、公債管理特別会計の増などにより、前年度当初予算と比べると 7.4%の増となりました。
- 企業会計については、病院事業会計の減などにより、前年度当初予算と比べると 22.9%の減となりました。
- 全会計の予算規模は、前年度当初予算と比べると 0.1%の減で、3年連続で減となりました。
(H25年度△0.8%、H24年度△0.8%、H23年度1.6%、H22年度0.9%、H21年度△2.0%)

●参考メモ●

平成 26 年度末の一般会計市債残高見込み 1 兆 1,025 億 4,260 万 2 千円
(一般会計当初予算額の約 1.9 倍)

平成 26 年度末の基金残高見込み

財政調整基金	69 億 2,198 万 7 千円 (うち 26 年度予算積立額 2,000 万円)
都市整備事業基金	96 万 7 千円 (うち 26 年度予算積立額 2 千円)

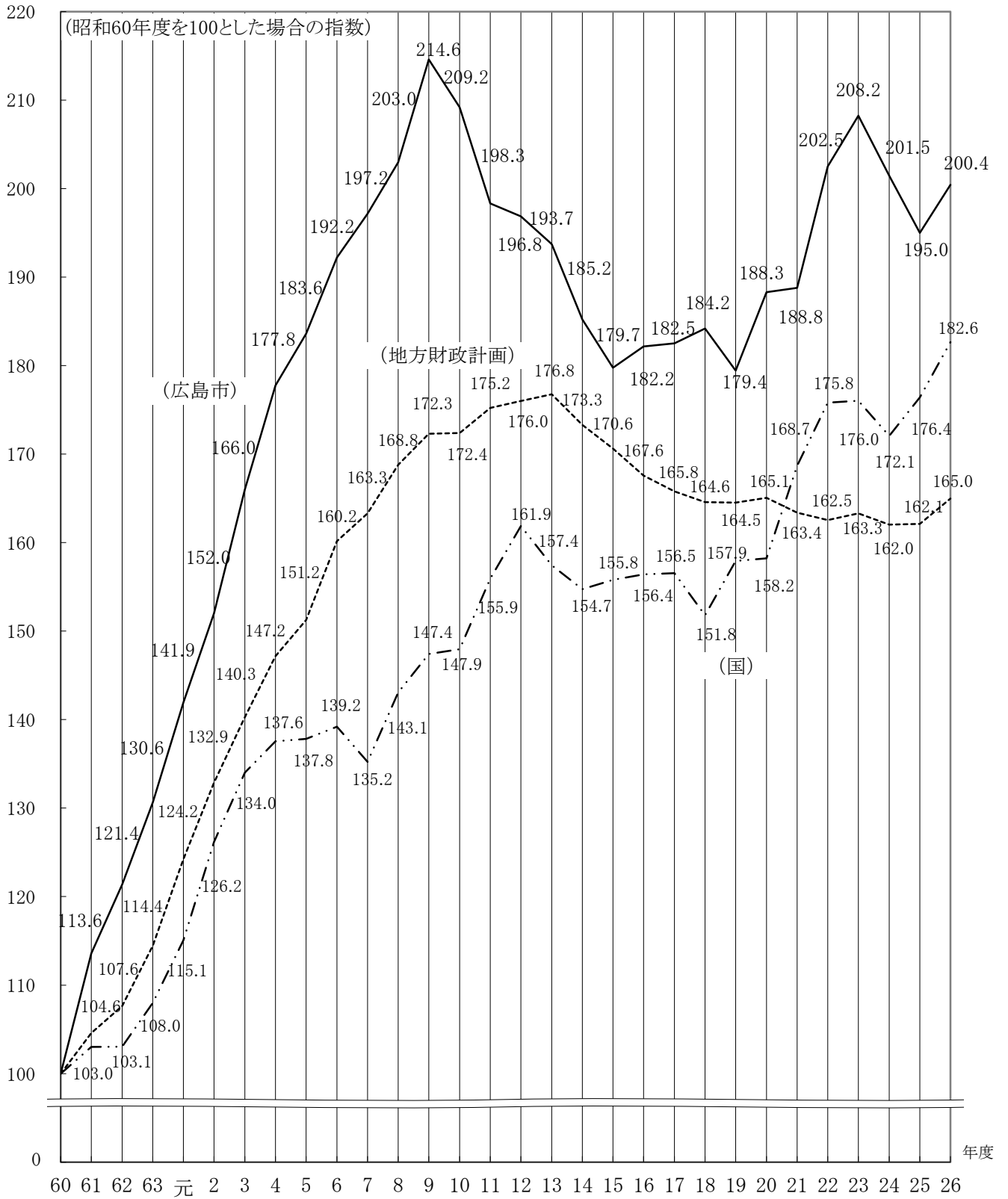
合計 69 億 2,295 万 4 千円 (うち 26 年度予算積立額 2,000 万 2 千円)

※ ピーク時 (平成 2 年度) は 530 億 6,567 万 1 千円

用語解説

- 一般会計…………… 地方公共団体の行政運営の基本的な経費を計上する会計
- 特別会計…………… 地方公共団体が特定の事業を行う場合や、特定の歳入をもって特定の歳出に充てる場合で一般会計と区分して経理する必要がある場合、条例等により設置することができる会計
- 企業会計…………… 独立採算を原則とした企業的な特別会計で、地方公営企業法の適用を受ける会計
- 市債(地方債) …… 建設事業等の財源を調達するため借り入れる資金で、償還が 2 年度以上にわたるもの

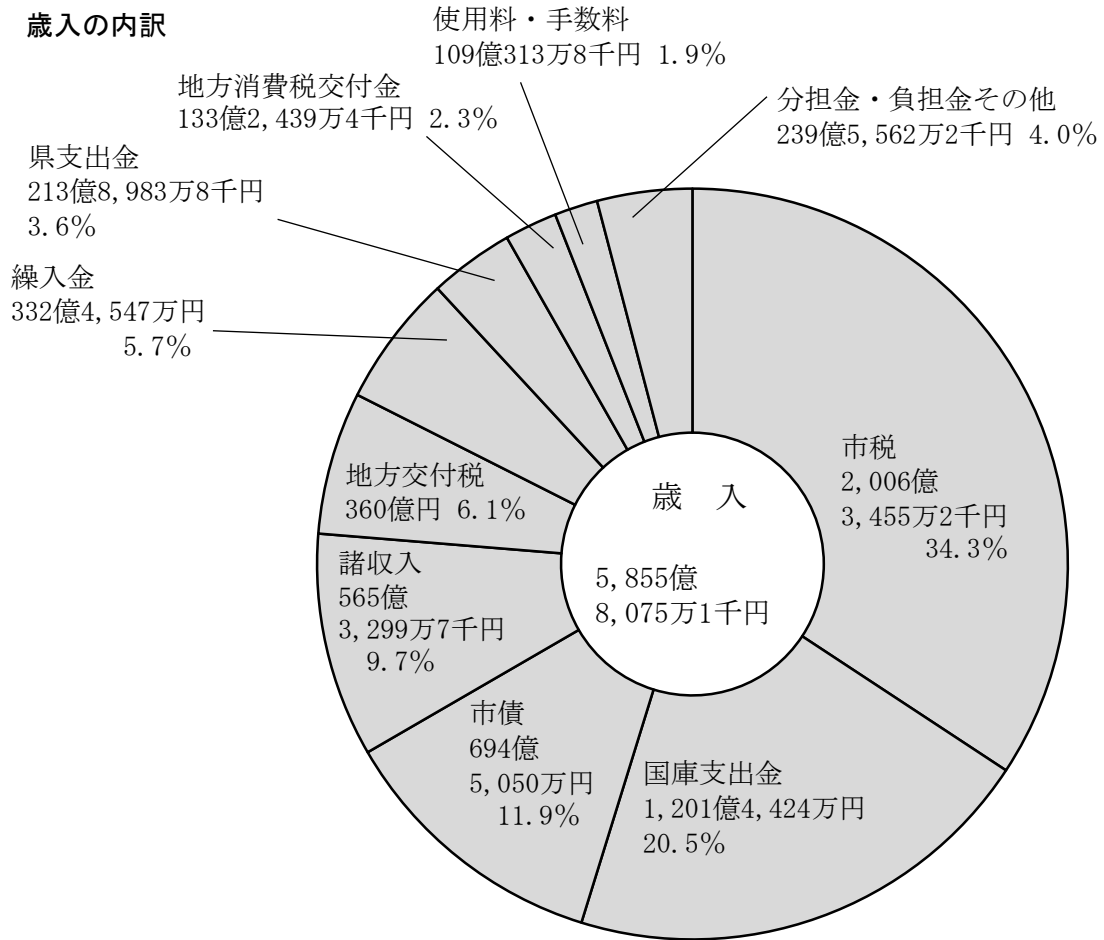
(2) 予算規模の推移（一般会計）の比較



※ 地方財政計画 … 国において作成される「翌年度の地方団体の歳入・歳出の総額の見込み」に関する調書

(3) 一般会計<歳入>

① 歳入の内訳



② 市税の内訳

